

「日本の独立」

名著です。

今日日本に必要なのは、この本のあとがきにある西郷隆盛の言葉「命もいらす、名もいらす、官位も金もいらぬ人は始末に困るものなり、この始末に困る人ならば、艱難を共にして国家の大業は成し得られぬなり」の始末に困る人です。

官位や金のために日本をア

メリカに売り渡す対米隷属政治家を暴き、どうすればいいかを書いていきます。たとえば第24章官僚意識を変革する秘策で「官」を廃し「員」とすべし。これなどは予算もいらす、やる気があればすぐに実行できます。

事務官、参事官、審議官と呼ぶと威張り自分たちが支配者だと思ひ込む、事務員、参事員、審議員にすべきである。官房という名前をやめ総務とすべき。裁判を行う民間人を裁判員と呼び、裁判官と分別する、これも職業裁判員、民間裁判員と呼ぶべきだ。

日本の役所で一番威張り散らし最低な人間が集まっているのが裁判所です。裁判所の実態を知れば、どうしてこれだけ世間一般の常識からかけ離れた人が集まっているのかと驚きます。戦後構造の中にもその職業選択の動機自体に問題があるとしたか考えられない。

日本の借金と米国債購入資金

し合いで解決しようとした西郷隆盛が軍国主義者にされ征韓論を主張して派兵した大久保利通が平和主義者になる、こういうイカサマ日本史を作り上げ、

今はアメリカの国債を買うための借金を日本の借金にすり替え、日本は破産寸前の赤字だから増税が必要とマスコミと役人が

そのルーツが明治6年の政変にある。

朝鮮出兵に反対し話

し合いで解決しようとした西郷隆盛が軍国主義者にされ征韓論を主張して派兵した大久保利通が平和主義者になる、こういうイカサマ日本史を作り上げ、



洗脳宣伝を繰り返す。

願いは、この本が多くの人に読まれ、米軍基地を整理縮小し、日本の手持ち米国ドル債を密かに売り抜け、その代金で日本の借金をすべて清算することです。日本に借金はありません、あるのは米国の借金肩代わり証。

中国が米国債を売り米ドルが暴落する前に、日本がこれを売り抜けなければ800兆円の資産は紙くずになります。

消費税を上げるといふ話の前に、どうして米軍住宅建設のために日本が3兆円も負担しなければいけないのか、どうしてアメリカ軍の飛行場新

側近の前原外務大臣も去り最近TVに映る菅の歩く姿は「死人」「ゾンビ」が歩く様に見えるのは私だけです。

設のために沖縄のきれいな海を破壊し何兆円のお金を負担しなければいけないのかを考えた。消費税をあげても米軍が使つて終わり？ 天下り機関への補助金が増えるだけ？ 景気は悪化し失業者があふれ治安が悪化し警察が肥大化するだけ？ 権力者は自分たちの不正を暴かれ都合悪くなると必ずでつちあげの「冤（えん）罪」を作りあげます。これも世界共通の「知られざる真実」です。

先月劇場で見ました。歴史的転換点の、幕末から維新の実録、家族愛の物語が現代の数少ない下級公務員とスライドします。「ラストサムライ」に通じるものでありますが、日本人の精神的ルーツを西洋人がソフトに理解できる内容

まして事務所の「乗っ取り」を平然と実行して何ら恥じることはない正義の主張には「仁義」の価値観を根本的に否定する恥ずべきものと私は思う。 どうも大切なものを置き忘れた、異文化が支配する人のようだ。

武士の家計簿

自然風土が生む金沢の武士です。家族の女性達がしなやかに描かれています。人はどう死に、何を残したか重要なのではない。 どう生きたかが大切なので

「ラストサムライ」に通じるものでありますが、日本人の精神的ルーツを西洋人がソフトに理解できる内容

(有)西川経営オフィスサービス
中村会計
事務所便り
 2011年3月7日(月) NO 174
 地域から明るい未来を作ろう